

対エジプト・アラブ共和国 事業展開計画

2023年 4月 現在

基本方針 (大目標)	持続的かつ包括的な経済・社会発展のための協力及び地域・国際社会の安定と発展の促進
---------------	--

重点分野 1 (中目標)	持続的経済成長の促進
-----------------	------------

開発課題 1-1 (小目標) 社会・経済 インフラ整備	【現状と課題】 包括的・持続的な成長を実現するためには、社会・経済インフラの整備が急務となっている。エジプトは、電力インフラ整備に加え、電力セクターの構造的な問題を抱えており、また、陸運、空港等の運輸交通分野におけるインフラの不足や質の低さ、急激な都市開発や防災対策等も課題となっている。今後、同国の国際競争力を向上させ、更なる経済成長を遂げるためにもかかる課題への対応が求められている。	【開発課題への対応方針】 包括的・持続的な成長を実現するため、電力インフラ整備及び電力セクターの構造改革、また都市交通・空港等といった運輸・交通インフラ整備を促進するとともに、急激な都市開発への対応や防災対策を支援し、同国の成長のボトルネックの解消と国際競争力の向上を支援する。特に電力セクターの構造改革においてはアフリカ開発銀行といった国際機関や二国間ドナーとの連携を図る。														
					実施期間											
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	2022 年度 以前	2023 年度	2024 年度				2025 年度	2026 年度	2027 年度	支援額 (億円)	SDGs	備考
	電力インフラ 整備支援・ 省エネルギー推進 プログラム		ハルガダ太陽光発電事業	有償	■	■	■				■	■	■	112.14	7,9,11,13	
			配電システム高度化事業	有償	■	■	■				■	■	■	247.62	7,9,11,13	
			電力セクター復旧改善事業	有償	■	■	■				■	■	■	410.98	7,8,9,13	
			太陽光を活用したクリーンエネルギー導入計画	無償	■	■	■				■	■	■	9.70	7,9,13	
			電力セクター改革アドバイザー	個別専門家	■	■	■				■	■	■	7	7	有償助定技術支援
			エネルギー利用効率改善能力開発プロジェクト（フェーズ2）	技プロ	■	■	■				■	■	■	2.06	7,13	
			コムオンボ太陽光発電事業	有償	■	■	■				■	■	■	7,9,11,13		
グリーン水素分野の国別研修			国別研修	■	■	■	■	■	■	7,9,11,13						
電力・エネルギー分野の課題別研修			課題別研修他	■	■	■	■	■	■	7,9,11,13						

開発課題 1-1 (小目標) 社会・経済 インフラ整備	運輸交通都市整備 防災支援 プログラム	都市内鉄道や空港整備等を支援し、より安定的・効率的な運輸交通体系のある都市の構築や、防災への取組、重要な外貨獲得手段でもあるスエズ運河の運営改善を支援することにより、ビジネス環境改善、輸出促進、産業振興及びそれらに係る人材の育成を図る。	カイロ地下鉄四号線第一期整備事業	有償								327.17	9,11				
			カイロ地下鉄四号線第一期整備事業（Ⅰ）	有償									410.00	9,11			
			カイロ地下鉄四号線第一期整備事業（Ⅲ）	有償										1000.00	9,11		
			ボルグ・エル・アラブ国際空港拡張事業	有償										182.00	9,11		
			スエズ運河通航に関するマーケティング戦略策定能力向上プロジェクト	技プロ											9		
			大カイロ都市圏及び周辺地域の国土開発計画における運輸交通インフラ整備戦略の策定プロジェクト	技プロ											2.69	9	
			道路アセットマネジメント長期研修	国別研修												9,11	
			都市開発・都市交通・橋梁・道路・港湾・航空・防災分野の課題別研修	課題別研修他												9,11	
開発課題 1-2 (小目標) 産業開発	【現状と課題】 包摂的・持続的な成長を実現するためには、競争力を備えた産業の振興及び雇用創出が重要である。特に観光セクターは、外貨獲得、経常収支の黒字化を目指す上で、重要なセクターとして位置付けられているが、2011年以降の政変、2015年の航空機墜落事故、2020年以降の新型コロナウイルス感染症、2022年以降のウクライナ戦争等により、観光客数や同セクターに関連する雇用にも影響が生じている。また、歴史的文化遺産等の観光資源が豊富にあるにも関わらず、それらが有効活用されていないことも、観光セクターの問題の一つとなっている。加えて、産業振興等のためには海外直接投資を含めた民間投資の拡大、中小零細企業をはじめとする民間セクターの活性化も重要である。		【開発課題への対応方針】 経済成長促進や雇用創出のため、主要セクターの一つである観光セクターを支援するとともに、民間セクター開発を支援する。観光セクター開発にあたっては、エジプトが有する観光資源を活用した観光開発を行うとともに、観光や文化財保全等に従事する人材の育成を図り、持続的な観光開発を支援する。また、これらの支援にあたっては、日本とエジプトの長年に亘る友好関係等の広報にも留意する。民間セクター開発については、雇用創出、失業問題等に対応しつつ、本邦企業を含む民間企業による投資を促進するための投資環境の整備や中小零細企業をはじめとするエジプト国内企業の育成・競争力の強化等を推進する。														
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考				
					2022 年度 以前	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度							
	観光開発支援 プログラム	大エジプト博物館の建設や同博物館に展示・収納する遺物の保存・修復に係る人材育成を行うとともに、同博物館の運営等を支援する専門家を派遣し、博物館職員の持続的な運営能力の向上等を支援する。また日本のビジビリティ確保に留意する。	大エジプト博物館建設事業（第二期）	有償								494.09	8				
			大エジプト博物館合同保存修復プロジェクト	技プロ									9.17	8	有償勘定技術支援		
			大エジプト博物館運営・展示プロジェクト	技プロ									7.18	8	有償勘定技術支援		
			大エジプト博物館マネジメント支援	個別専門家										8	有償勘定技術支援		
			観光開発分野の長期研修	国別研修										8			
			観光開発分野の課題別研修	課題別研修他										8			
	民間セクター開発 支援プログラム	民間セクター開発支援を通じ、雇用創出、失業問題等に対応しつつ、本邦企業を含む民間企業による投資を促進するための投資環境の整備や中小零細企業をはじめとするエジプト国内企業の育成・競争力の強化等を推進する。	民間セクター開発分野の課題別研修	課題別研修他									8,11				
			中小零細企業支援事業	有償									5,8,9,17				
			アフリカ地域起業家支援に関する情報収集・確認調査	基礎情報調査										8			
			ビジネス開発サービスの強化を通じた中小零細企業競争力向上プロジェクト	技プロ										8,9			
			投資促進	個別専門家										8,11			
			BOP層の生活保障に資するマイクロ・タカフル事業に関する案件化調査	案件化調査										8			

開発課題3-1 (小目標) 教育・人材育成	公的セクター強化 支援プログラム	政府のガバナンス能力強化、実効性のある計画策定・実施・モニタリング、ICT活用のための支援等を行う。	ITを活用した時間利用調査手法開発	国別研修												8	
		ODAと日本の開発経験		国別研修			■■■■■■■■										8
		税務行政分野の課題別研修		課題別研修他													8
		税務行政分野の国別研修		国別研修													8
		ガバナンス分野の課題別研修		課題別研修他													8,16

【現状と課題】
エジプトは、アジア・アフリカ・欧州の結節点という地政学的な要衝に位置する大国であり、同地域におけるエジプトの政治的・経済的な存在感が増す中、地域の安定には同国の存在が欠かせない状況である。かかる背景を踏まえ、日本と同国政府は、サブサハラ・アフリカ及び中東地域向けの第三国研修を実施し、2019年には「日本・エジプト三角協力プログラムに係る協力覚書」を署名する等、サブサハラ・アフリカ及び中東地域に対する域内協力の推進を図っている。一方、効率的・効果的な研修を実施する上では、エジプト側実施機関の研修実施能力を一層強化することが必要となっている。

【開発課題への対応方針】
地域安定化及び中東・アフリカ開発促進の観点から、これまで実施してきているサブサハラ・アフリカ及び中東地域向け第三国研修の一層の充実化及び戦略的活用を図り、地域の人材育成を支援する。その際、保健・農業等の伝統的な協力分野に加え、アフリカの平和と安定に資する他分野での協力の可能性も検討する。また、第三国研修の実施を通じ、エジプト政府の実施機関の能力向上を図る。

開発課題3-2 (小目標) 地域安定化のための人材育成	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間							支援額 (億円)	SDGs	備考				
					2022 年度 以前	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度								
中東地域人材育成 支援プログラム		中東地域でニーズが高く、同地域よりもエジプトが相対的に優位性を有する水資源管理や電力等の分野において、受益国・地域のニーズに応じた第三国研修を実施することにより、中東地域の域内協力による受益国の人材育成を図る。	イラク向け第三国研修「統合水資源管理」	第三国研修												6,17		
			イラク向け第三国研修「電力」	第三国研修														7,17
			イエメン向け第三国研修「院内感染対策の基礎」	第三国研修														3,17
アフリカ地域 人材育成支援 プログラム		サブサハラ・アフリカ地域でニーズが高く、同地域よりもエジプトが相対的に優位性を有する農業、保健医療分野を中心に、第三国研修を実施することにより、アフリカの平和と安定を目指すとともに、同地域の人材育成を図る。	アフリカ向け 食料・環境分野の第三国研修	第三国研修												2,17		
			アフリカ向け 保健分野の第三国研修	第三国研修														3,17

【凡例】 「協定」(＝全ての協力準備調査)、「詳細設計」(＝詳細設計)、「基礎情報調査」(＝基礎情報収集・確認調査)、「技術プロ」(＝技術協力プロジェクト)、「開発計画」(＝開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(＝個別機材)、「国別研修」(＝課題別研修及び青年研修、長期研修)、「JOCV」(＝JICA海外協力隊)、「第三国専門家」(＝第三国専門家)、「現地国内研修」(＝科学技術)、「科学技術」(＝科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型、SATREPS))、「草の根技協」(＝草の根技術協力)、「〇〇省技協」(＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「SDGs調査」(＝途上国の課題解決型ビジネス(SDGsビジネス)調査)、「無償」(＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)「食糧援助」(＝食糧援助)、「一般文化」(＝一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(＝草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(＝緊急無償資金協力)、「日本NGO」(＝日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(＝草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(＝円借款、海外投融資)、「マルチ」(＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム)、「基礎調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「ニーズ確認調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「ニーズ確認調査」)、「ビジネス化実証事業」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「ビジネス化実証事業」)、「実線「----」」(＝実施期間)、「破線「-.-.-」」(＝実施予定期間) ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」、14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf